



ふくぶっく通帳贈呈式

日時： 令和7年1月23日（木） 昼休み
 場所： 袋井南中学校図書室
 参加者： 袋井市長 大場規之様
 袋井市図書館長様
 県立図書館担当者様
 袋井南中学校 学習図書委員（委員長 各学級 2名）



内容： 1 始めの言葉
 2 袋井市長挨拶 「袋井市まちじゅう図書館事業」に関する取組
 3 ふくぶっく通帳贈呈 代表：学習図書委員長 渡辺祥多
 4 学習図書委員長お礼
 5 新システム図書貸出
 6 終わりの言葉



【大場規之市長様からのメッセージ】
 袋井市では、いつでも、どこでも本に触れられるようにとの願いを込めた「まちじゅう図書館」を運用し、子どもたちの読書環境の改善に力を入れています。
 本は読むことで知識・情報を増やし、世界のどこにも行くことができます。生徒のみなさんが活字に親しみ、読み書きの力を育てていくことができるよう、これからこのシステムを大いに活用してください。

ふくぶっく通帳贈呈！



図書室の貸出・返却が新システムになりました。まさかこんなに革命的なシステムだとは思いませんでした！タッチパネルですべて操作することができます。借りたい時は「貸出」を押し、自分の図書カードのバーコードを読み込んでもらうだけなので、効率よくミスなくできるところがすごくいいと思います。
 また、学習図書委員の仕事も精選されます。「貸出・返却」のやり方の説明をきちんとすることを徹底すれば、私たちはすきま時間に本を読んだり、整頓したりする時間の余裕ができるのではないかなと思います。市内の図書館から本を取り寄せれることも夢みたいです！最高のシステムの導入をありがとうございます！



図書室の新システム、実際にやってみましたがとても便利でした。
 今までには図書委員が手作業でバーコードを読み取っていましたが、新システムではその労力が減り、スムーズに本の貸出業務ができて嬉しいです。このシステムによって多くの人が図書室に来て、本に興味を持ってくれると嬉しいです！



図書室のシステムが新しくなり、図書室の雰囲気もハイテクになった感じがします。新システムになったことで、学習図書委員の労力が減るメリットは嬉しいことですが、バーコードを読み取るためのコミュニケーション（何組の何番かを聞くこと）の機会を失ってしまうデメリットは少し残念でもあります。
 この南中の図書室を、みんなが楽しみながら本を読める場所にできたらなあと思います。「本は楽しく、本の世界に入りながら読むべきもの」この目指している図書室にするために、努力をしていきたいです。



袋井南中学校に新システムが導入され、図書の貸し出しがスムーズにできるようになります。貸出可能な冊数も最大5冊までとなります。新刊も続々と入っています。図書館で「素敵な本との出会い」を楽しんでほしいです。
 ＊学習図書委員長 渡辺 祥多＊